



# 三豊市 議会だより

<https://www.city.mitoyo.lg.jp/gikai/>

5月臨時会・6月定例会

②特集 議会報告会 ⑤議案報告・審議結果 ⑧一般質問 ⑭委員会審査 ⑯学校紹介

📷三豊市スポーツ協会弓道部

2021年  
8月号  
No.42

## 学校紹介

### 三豊市立麻小学校児童会



(左から) 近藤 瑞樹/高橋 結/鴻池 春斗  
久保田 羽衣乃/石井 美瑠愛/白川 大斗

麻小学校では、「あいさつ・学校安全・思いやり」を合言葉に活動しています。各委員会や学級委員と連携して、楽しい学校生活を送れるように、リモートで呼びかけをしたり、楽しい行事などを企画したりしています。

### 三豊市立桑山小学校児童会



(左から) 平山 ころこ/釘本 大雅/岸井 終侑  
露口 颯花/田尾 玲菜/森 虎治郎

桑山小学校では、「笑顔いっぱい为学校」を目指してあいさつ運動等を推進しています。また、よりよいエネルギー利用について全校生で考え、SDGsの社会づくりにも取り組んでいます。



### 三豊市立山本小学校児童会



(左から) 北岡 理子/橋本 浩生/城 龍醒/伊藤 叶翔  
片桐 汐夏/森 想来

山本小学校では、伝統のあいさつ運動とリサイクル活動を継続しています。本年度は初となる「紙飛行機大会」にも挑戦しました。今後もみんなが楽しく取り組める活動を企画し、全校生がスマイル＆ハッピーな学校を目指します。

### 三豊市立上高野小学校児童会



(左から) 白川 聖七/石川 小運/岡 英汰  
田中 夢空/西岡 翼

上高野小学校児童会では、毎年、あいさつ運動やボランティア活動に頑張っています。さらに本年度は、全校児童が力を合わせて、学校の自慢になる背の高いジャンボヒマワリを育てます。

### 編集後記

市内でもワクチン接種が、着々と進んでいます。2回接種で、約90%の感染予防効果があるとされています。早く平穏な生活に戻りたいものです。

三豊市議会では、昨年は新型コロナウイルス感染症予防のため、議会報告会を行うことができませんでした。そのため今年も、動画配信をさせていただきます。議会だよりについても、身近に感じてもらえるよう、常に工夫してまいります。ご愛読をよろしく願います。

(石井)



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧いただけます

議会広報委員会  
委員長 岩田 秀樹  
副委員長 田中 達也  
委員 市川 洋介  
近藤 武修  
水本 真奈美  
石井 勢三

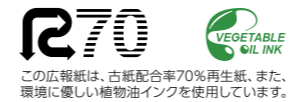
### 今月の表紙

#### 三豊市スポーツ協会弓道部



礼に始まり、礼に終わる。静寂の中、弓をいっばいに引き、矢を射る射礼の美しさに心動かされます。現在、弓道部は称号受有者9人を含む部員53人(24~88歳)が弓道審査会、ひいては国体を目指し、西讃地域唯一の弓道場で練習を重ねています。射礼後、弓道場に優しい笑顔が光ります。

(水本)



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。

発行・編集  
三豊市議会・議会広報委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1  
TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp



# メイキング

撮影中の様子です。手持ちの機材を持ち寄り、ディレクター・AD・演者・カメラ・音声から編集に至るまで、議員が行いました。

正面を向いた映像を撮るのって、案外難しいですね。よく見るとバックボードが水平になっていなかったり、ネクタイがずれていたり、いろいろなことが起こります。

後になってミスに気付くので、取り返しがつかず、編集でごまかせないものは、ほとんどそのままにしています。

当然NGも続出です。テイク4を超えてくると、声に元気がなくなってくるんです

よね。なのでNGが出たら、しっかり笑って演者を元気づけました。



そんな雰囲気をお伝えしたいのと、少しでも楽しくご覧いただきたいという思いで、エンディングはジャッキー・チェン映画ばりにNGシーンを取り上げました。最後までご覧いただき、笑ってくださるとうれしいです。

# 映像による

# 議会報告会を開催しました!

皆さまのご意見をまちづくりに



ユーチューブで配信しています!

## いただいた意見の今後のながれ

- ①映像による議会報告会や対話集会から、皆さまの意見を伺います。
- ②各担当常任委員会で意見・回答を整理し、議会だよりや議会ホームページで報告します。
- ③広聴会議で「市政に対する要請書」を作成。市の課題や緊急を要する案件等、いくつかの案件をピックアップします。
- ④議長から市長へ「市政に対する要請書」提出。ピックアップした案件を要請書に盛り込み、市長へ政策提言します。
- ⑤市長から議長へ「市政に対する要請書」回答。提出した案件に、今後、市としてどのように取り組んでいくかが回答されます。

### 映像の作成は議員の手で

動画は、全体で約25分、令和3年度の予算や主要施策について、議会の審議結果を中心に報告する内容となっています。企画、撮影、編集とも議員で行っており、動画の最後には、おまけ映像として議員のNGシーンもあり、苦闘の様子も公開しています。また、ユーチューブ動画をご覧いただいた後、アンケートにご回答いただきました。

### アンケートは、ホームページ上で6月末まで受け付け、市政や市議会に対するご意見を募集しました。



その結果は、4ページでお知らせしています。貴重なご意見をお寄せください、ありがとうございます。

### 皆さまの声をまちづくりに

皆さまからいただいたご意見は、回答を整理し、後日、「議会だより」および「議会ホームページ」で公表するほか、これらの意見の中で特に重要なものについては、「市政に対する要請書」として市長に提出することとしております。要請書やその回答については、随時、議会だよりでご報告してまいります。

### 新型コロナウイルス感染症対策のため、議会報告会のスタイルチェンジ

三豊市議会では、平成25年4月に三豊市議会基本条例が施行されて以来、「開かれた議会」をテーマに、市内各地に会場を設けて議会報告会を開催し、これまでも、多数の皆さまにご参加いただき、貴重なご意見を伺ってきました。

とても効果的な取り組みでしたが、昨年度に続き本年度も、新型コロナウイルスの影響から、予定しておりました従来の対面での議会報告会を開催することができませんでした。このような状況を踏まえ、検討を重ねた結果、「映像による議会報告会」の開催を企画しました。

### 議会報告会はどんな目的で開いているの

議会は、市長との二元代表を構成することによって市政運営を担っています。市長は予算の編成、市議会への提案、予算

の執行などの権限と義務を持つ一方、市議会は市の決定や施策の執行状況を監視する権限を持ち、お互いに三豊市と市民の皆さまに対する責任を共有しています。

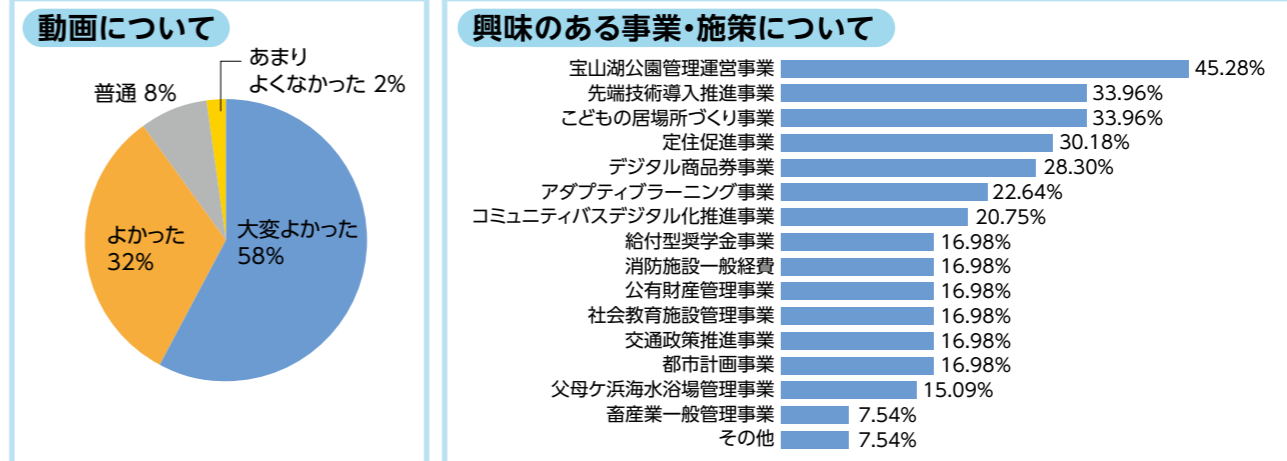
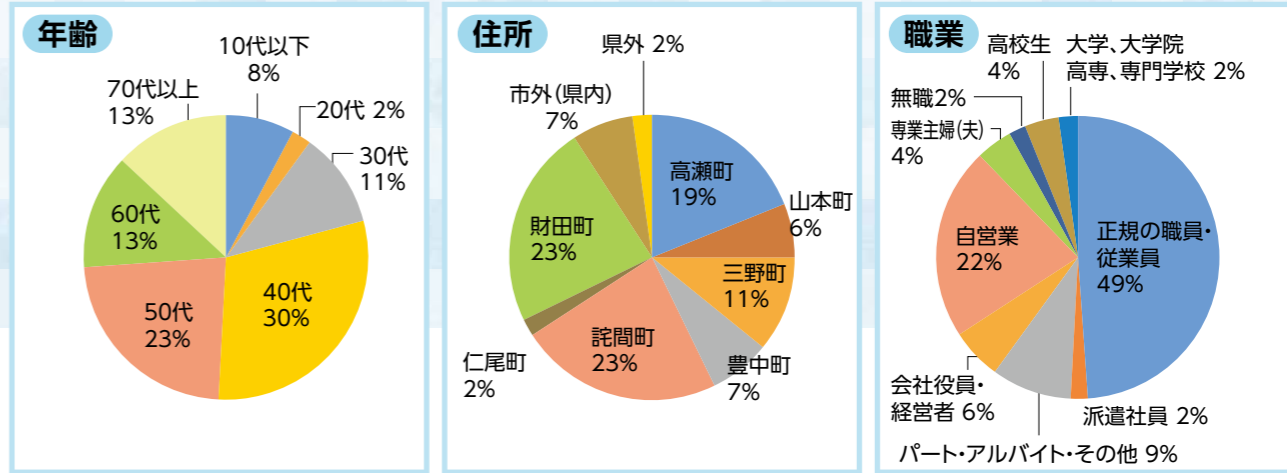
議会報告会は、現下の三豊市の状況や、議会が議決した本年度の予算に基づく市の施策を、議会としてご説明し、その上で、より多くのご意見をいただきながら、市民の皆さまに、開かれた議会を実現するための一環として取り組んでいるものです。







アンケート集計結果 アンケートへのご協力ありがとうございました!



**議案 Pick Up**

人事案件 (敬称略)

○副市長の選任  
綾 章臣(二野町下高瀬)

議案第55号  
専決処分の承認を  
求めることについて

令和3年度三豊市一般会計補正予算  
(第1号)

同意 承認

今臨時会では、専決処分2件が承認、  
人事案件1件が同意されました。

令和3年 第2回  
臨時会  
の  
概要

【会期 5月25日】

■全会一致の議案

議案名等	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (三豊市税条例等の一部改正)	原案承認
専決処分の承認を求めることについて (令和3年度三豊市一般会計補正予算(第1号))	原案承認

■賛否が分かれた議案等

議案名等	議員名																						議決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
三豊市副市長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 (賛20、反1)

※○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥 ※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。(議長 12番 為広 員史)

今定例会では、次のことが決まりました

- 令和3年度補正予算 ..... 2件可決
- 条例に関する議案 ..... 4件可決
- 人事案件 ..... 1件同意
- その他市長提出議案 ..... 5件可決
- 議員派遣 ..... 1件可決

この中から、議案をピックアップし、ご紹介いたします。

令和3年 第2回  
定例会の概要

【会期 6月11日～29日(19日間)】



- 永年勤続表彰  
町議会議員歴の2分の1を  
勤続年数に通算  
三宅 静雄
- 全国市議会議長会表彰  
特別表彰  
20年以上議員表彰  
三宅 静雄
- 一般表彰  
4年以上正副議長表彰  
為広 員史
- 四国市議会議長会表彰  
特別表彰  
20年以上議員表彰  
三宅 静雄
- 16年以上議員表彰  
三宅 静雄
- 川北 善伴
- 詫間 政司
- 岩田 秀樹
- 金子 辰男

映像による議会報告会についての感想をお寄せいただきました。いくつかご紹介いたします。(政策へのご意見やその回答は11月号に掲載予定です)

コロナ禍でなくても議会の情報が手軽に入手できる非常に良い方法だと思います。ICTからIoTさらにAIへと三豊の未来を感じます。デジタル化大いに進めてください。私のような高齢者にも分かりやすくお願いします。(70代)

YouTubeはこちらから!

制作した動画は、ホームページ上でのご意見やアンケートの受け付けは終了しましたが、議会ホームページおよびYouTube「三豊市議会」チャンネルでご覧いただけます。議員のこわばった表情や拙い編集も楽しみながら、ご覧ください!



三豊市議会 または YouTube 三豊市議会 で検索!

コロナ禍でどのように市議会の活動を伝えていくのか。試行錯誤ではありますが、議会の視点が表れた内容だと思います。非接触となるとこれしかないと思います。しっかり続けて下さい。(60代)

初めて議会報告会を見ました。分かりやすく説明していただきよく分かりました。また、市議会議員の役割、責任の重さも分かりました。大変な仕事をされているんだなと思いました。これからも、市民に寄り添った活動をお願いします。よく分かる議会報告ありがとうございました。(70代)

各施策を簡潔に説明いただき、分かりやすかった。各分野でいろいろと取り組まれていることが分かった。その反面、財政事情に不安も感じた。(50代)

今回のような形での報告会は、新鮮味がありとても良かったです。お疲れ様でした。(70代)

動画、とっても楽しくて分かりやすく最後まで見ました。子どもの医療費について、中学生まで医療費助成に助けられていますが、高校生まで負担ゼロになるとさらに住んでいたいと思えるようになります。(30代)

最後のNG集を見ていると和気あいあいとされている感じがいいですね。必要とされている事業ですが、進めながらいかに予算を余していけるかにも力を入れていただきたいです。(40代)







込山文吉 議員



自治体SDGs推進について

地方創生SDGsの普及展開について考えを聞く。

地方の活性化を目的とした地方創生は、SDGsの理念と合致する。SDGsの普及推進として、

みとよSDGs推進パートナー制度を創設した。市と共に普及推進に取り組み企業、団体をパートナーとして登録し、その取り組みをホームページ等で広く周知する。

自治体SDGsを三豊市の意思として持続的に推進していくために条例化が必要ではないか。

企業、団体や市民一人一人まで意識を共有するための方策として、条例制定について検討していく。

移住定住施策について

移住促進・新婚世帯家賃補助金を市内在住の方にも拡充し新婚向けアパート等の確保が急務ではないか。

新婚世帯、若者世代に選ばれらるまちななるためにはどのような施策を行うことが有効なのか



浜口恭行 議員



コロナ禍におけるネクスト地域再生政策について

コロナ禍が本格化して1年以上たった。ワクチン接種は開始されたが経済社会の先行きは不透明なまま、今後は疲弊した地域を活性化するためにアフターコロナをもちんだ積極的政策の提示が求められる。RESASなどのさまざまなデータを活用し、エビデンスに基づいて地域の特性を生かしたネクスト地域再生政策を打つべきであると考えます。

本市は今後、どのように地域を再生するべく中小企業などに政策を打っていく予定があるのかを聞く。

持続可能な地域経済の循環を形成するために、産業構造や地域経済の自立性に関するデータを地域間で比較し、本市ならではの強みと課題を把握しなければならない。令和2年度に実施した市内事業者へのアンケートも活用しながら、コロナ後の地域の実情に合った有効な支援策を講じていくよう、第2次総合計画と併せて企業振興施策を実施し

を念頭に、若者の流出を防ぎ、移住定住を促進することで人口の減少が抑えられるよう取り組む。

三豊市給付型奨学金事業について

対象者は本年度の高校新卒者であり昨年コロナで被害を受けた大学2年生を含む現役生などは対象になっていない。現役生向け給付型奨学金事業を拡充すべきではないか。

本市出身で県外在住の学生を対象にアンケート調査を実施し、ニーズ調査結果とともに、今後のコロナ禍による社会情勢の変化も併せて検討する中で、現在2年生以上の現役学生への拡充策を検討していく。意欲ある学生たちが経済的な理由により道半ばで夢を諦めることなく、学びを継続できる環境を実現していきたい。



その他の質問

〇スポーツ施設配置計画について

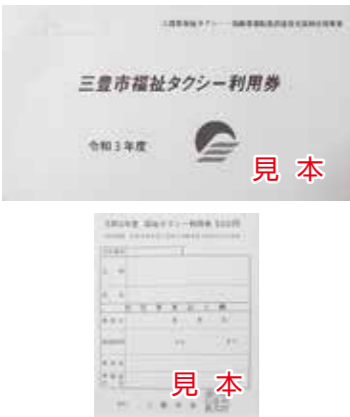
ていきたい。

福祉タクシー利用券の拡充について

福祉タクシー・高齢者運転免許証自主返納支援事業については、対象者が65歳以上となったが、運転免許証のある人にも福祉タクシー券を交付してほしいという市民の声を多く聞く。

コミュニティバスなどが使いにくい中で、原付バイクや車など運転免許証のある人にも福祉タクシー利用券の拡充ができないのか。

福祉タクシー事業については、本年度もそうであるが、制度変更を行いながら現在に至っている。福祉政策としてこれで良いのかという点での検証も必要であり、今後の事業展開など、改めて検討をさせていただきます。



▲三豊市福祉タクシー利用券



金子辰男 議員



幹部職員の職務内容および、新入職員の教育について

審議監の職務内容と、市長就任半ばで新設された理由、市民にとって重要なポストであるのか。部長の権限はどうか。また、新入職員教育とその後の研修について問う。

審議監は市政、教育行政の特に重要な事項に特化した課題解決にかかる企画立案・実施に参画し困難な特命事項を統括整理し、関係職員を指揮監督する者で、培ってきた人脈や知見を生かした交渉、決定、判断という機動力強化を目的に設置した。部長職は本市職務権限規程に基づき組織として機能している。

新入職員は基礎研修、初任者研修を行っている。専門的能力向上は、県および専門機関実施の能力別研修へ参加を促している。また、ストレスチェックも実施。

審議監は職員がきちんと業務をこなせば必要なのではないか。

本市における審議監は重要だ。



丸戸研二 議員



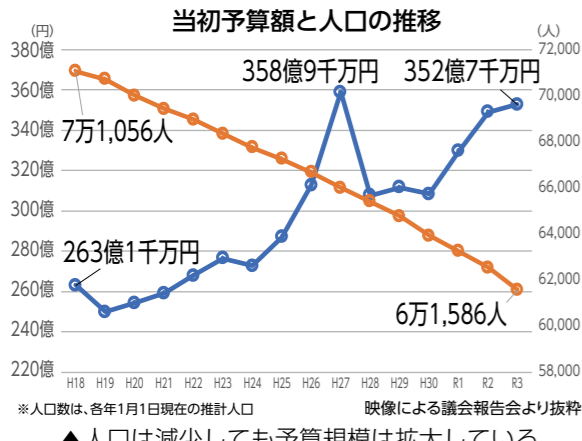
予算管理と財政運営における課題と将来展望について

合併時から人口は約9,470人減少した。一方、予算規模は拡大を続けており、市民一人当たりの予算規模は約37万円から約57万2千円と上昇している。この現実に対する市長の認識を伺う。

ご指摘のとおりであり、大きな課題であると認識している。

膨れ上がる予算を賄うため、借金による財源確保が常態化している。このことに対する認識を伺う。

合併時から人口は約9,470人減少した。一方、予算規模は拡大を続けており、市民一人当たりの予算規模は約37万円から約57万2千円と上昇している。この現実に対する市長の認識を伺う。



▲人口は減少しても予算規模は拡大している (青線グラフは当初予算額、赤線グラフは人口の推移を示す)

新入職員の離職防止の取り組みは、どのように実施しているのか。

心の健康と個々の能力を最大限に発揮できる人事配置に努める。

アフターコロナの観光戦略について

コロナ発生前と後では観光の方向性が整理し準備していくのか。

観光産業支援策として、観光客向けプレミアム付デジタル商品券事業で観光客の市内の消費拡大、外貨獲得で後押しする。アフターコロナで観光意欲も高まると予想される。地域に眠る観光資源を二層磨き上げる取り組みを支援する。

観光客の移住定住について、高齢者、二世帯移住は考えられないのか。

移住定住と観光振興を合わせて、人口減少に効果を見出したい。



▲父母ヶ浜

平成18年度の市民一人当たりの借金が42万4千円であったものが、令和元年度には55万6千円に拡大した。合併特例債の発行限度額44.6億6千万円の全額運用が大きな要因と考えている。

合併特例債は、事業費の66.5%が地方交付税として国から援助されるが、残りの33.5%は三豊市の負担となる。返済のための計画的積立が必要ではないか。

今後、計画的な積立を行い、将来に負担をかけない対策を講じる。

市長は、新しい施策に積極的に取り組んでいる。今は可能性の追求という意味で一定の評価はしているが、今後は「結果」が求められる。新しく展開した施策とその効果を検証することも必要でないか。

目指す目的、目標というものを明確に示しながら、段階的なステップを踏んでいきたい。また、国の補助金なり、国の政策をうまく絡ませながらやっていきたい。

財政計画は重要だが、10年先の中期的な5年、さらには3年程度の短期的なスパンでの検証を実施する必要があるのではないかと。

財政の実態をできるだけ正確に把握できる仕組みが必要であるとされており、その構築に取り組む。

※RESAS…産業構造や人口動態・人の流れ等のビッグデータをマップやグラフで分かりやすく表示できるシステム  
※エビデンス…根拠や証拠





高木 修 議員



薬用作物の今後の展開策について

耕作放棄地の増加に歯止めがかからない中、新しい切り札として薬用作物に期待が高まっている。まず、薬用作物普及への、具体的推進策について伺う。

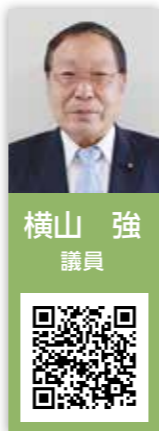
また、新規取り組み農家に対して補助金の交付等はあるのか。

昨年6月に結成された三豊薬用作物栽培研究会を受け皿として、常時会員を募集し、栽培面積の拡大を進めている。毎月の研究会では、薬用作物関係者を講師に招き三豊市に適した栽培技術の確立を目指している。



▲薬用作物のトウキ

次に補助金等については、一定の要件を満たせば、市独自に補助金交付を行っている。  
国民健康保険税の徴収率について  
令和元年度の国民健康保険税の徴収率が82.9%となっており、他の市税に比べかなり低くなっている。まず、この現状をどのように捉えているか認識を伺う。  
また、税の公平性の観点から、徴収率の向上が期待されるが、今後の取り組みを伺う。  
国民健康保険は、全ての国民を対象とする公的医療保険として、国民皆保険体制の基盤的役割を果たしてきた。加入者には、どうしても年金生活者や非正規雇用者が多くなる。徴収率の現状は、そのことに起因するところが大きい。  
徴収率向上への具体的な取り組みとしては、コンビニ収納による利便性の向上や、保険税を納められない方に対しては、適宜納税相談を行っている。



横山 強 議員



詫間庁舎周辺と高瀬庁舎周辺等の再整備について

市民の税金を無駄遣いとしたブランドデザインと水族館事業費の損失の返還責任と、今後の計画を伺う。

市民の税金の部分は水族館事業費2億1,332万8,630円、ブランドデザイン事業費は3,322万806円で、本事業は当初の計画が成就せず、じくじたる思いの部分があることから、議員ご指摘の部分は重く受け止め、今後の教訓として、同様の事案が起きないように努めることと、市民から信頼を得られる行政としての取り組みを考えたい。

ブランドデザイン等、間違いを伺う。

間違い部分の報告ができていないことをお詫びする。現時点で



▲市長・新副市長が水族館・ブランドデザイン事業で市民の税金無駄遣い額2億4,654万円



近藤 武 議員



移住・定住促進対策における奨学金返還支援制度について

本制度は若者の移住・定住を促進することや、受給者にとって経済的負担を軽減できる制度であるが本市の考えは。  
市内企業等の意見を聞くなど、調査研究を進めていく。

市道整備と安全対策等について

劣化の激しい道路舗装の整備についての進捗状況、また区画線や白線が消えて運転に支障を来しており、再舗装ができれば白線だけでも整備すべきである。  
路線数、総延長が膨大なため、改良および修繕について十分な対応ができていない部分がある。安全で快適な生活を確保するため、計画性を持って早急に整備を進めていく。



▲消えたセンターラインと車道外側線



湯口 新 議員



ブランドデザインの進捗状況について

ブランドデザインに強く関わってきた綾審議監が副市長となった。ブランドデザインの現実に影響はないのか。現在の進捗状況は。  
詫間エリアは令和3年度中に事業費の検討、事業計画等を盛り込んだ基本構想を策定することとしており、本庁舎周辺エリアも基本構想の策定に取り組んでいく。施策の具体化に向けては、関係部長への事務引き継ぎを行っており、関係部局の連携により事業の進捗を図る。

令和7年度までにブランドデザインの現実は可能か。

詫間エリアに関しては来年度基本設計、令和5年実施設計、令和6年、7年にかけて工事を実施、令和8年度からの供用開始を目指す。他の事業も非常に厳しいスケジュールだが令和7年度を目標に精いっぱい



▲令和7年度の実現に向けて進められているブランドデザイン内の高瀬駅イメージ図

避難所の食料について

食物アレルギーの方でも安心して避難所で食事を取れる方法として、非常用備蓄食料を全量、アレルギー対応食への切り替えに取り組んでどうか。  
本年度より更新するアルファ化米については全てをアレルギー対応にしていこう。粉ミルクについては、現在31%がアレルギー対応となっている。

田んぼダムの防災・減災について

水田に深さ10センチほどの調整機能を持たせれば、1ヘクタールで1,000立方メートル貯水が可能となるものであるが。  
田んぼダムの取り組みの推進と同時に、水路等における脆弱な箇所については崩壊するなどの危険性もあり、各種土地改良事業を活用して、施設整備および農地保全を推進していく。

フッ化洗口について

厚生労働省がフッ化ナトリウムを劇物指定した前後でどう対応が変わったのか。  
対応に変わりはなく、引き続き学校医、三豊歯科医師会からの指示書に基づき購入し、適切な薬品の管理、使用を行っていく。

新しい教育長の考えについて

新しい教育長はどのような考えをお持ちの方か。  
本市の教育の充実と発展のため、これまでの取り組みを継承するとともに、子どもを取り巻く環境をこれまで以上に整えることを最重要課題として、子どもたちが夢にチャレンジするための勇気と知恵を身につけることができるよう、誠心誠意取り組む。先生方も子どもたちも、必ず誰にも長所がある。その長所をいかに見つけ、生かせるポジションに持っていき、さらにそこで活躍できるように支援できるか、ということに大事にしていきたい。

市内の子どもの貧困の現状と対策は。  
三豊市の全児童生徒のうち約1.4%、67人が家庭の事情やネグレクト、経済的理由により食事の課題を抱えていることが分かった。目の前の子どもたちの現状から目をそらすず寄り添うことからスタートしてもらいたいと、校長会でもお願いしたところ。喫緊の課題であり、関係各課と連携し、検討を進めると同時に対策を練る。

その他の質問

○今後の観光施策について

※SMW方式…専用の機械で地盤を削孔し、セメントと水の混合液と土とを混ぜて、地中に壁体を作る工法  
※ロックカット方式…フレンに取り付けた掘削機械が、地中内の障害物を小割りにしながら、掘削する工法  
※ネグレクト…養育すべき者が食事や衣服等の世話を怠り、放置すること、育児放棄





西山彰人 議員

許認可について

問 日本は、新型コロナウイルスの開発が遅れているが、許認可権限を持っている国が責任を取らないからだと言われている。建築確認、農振除外や農地の宅地転用許可など多くの許認可があるが、市民のためにどうすべきか見解を伺う。

答 許認可等の事務は、市民の生活や社会経済活動に密接に関わるもので、権限を行使することによって健全な市民生活を阻害することのないように、国・県に対しても、市民目線に立ち、事務の迅速化や簡素化、効率化を求め、透明性の向上や公平性の確保を働きかけた。

職員の職務について

問 過去の事例に対し、総括と反省点が引き継がれているのか。また、管理職が管理職として機能しているのか、管理職手当はその職務に見合っているのか伺う。

答 懸案事項も含め、多年にわたって留意すべき事項についても後任等に引き継ぐよう定めている。管



水本真奈美 議員

文化芸術による子ども育成事業の充実について

問 文化芸術に触れる取り組みについて伺う。

答 文化芸術に触れる環境を整える観点から三豊の保育の道しるべ「なつ」の「たから」に示している「ほんまもんの体験」を大切に環境を整え提供する取り組みを日々行っている。

芸術士派遣事業について

問 幼児期における創造力や表現力、自己肯定感を育む教育モデル事業として取り組む考えについて伺う。

答 芸術士派遣事業のみならず、幼児期に豊かな感性と表現力を育む取り組みは人の土台をつくる重要な部分であると認識し、できる限り、市内全域で子どもたちの感性を磨くことができる場、時間を増やしていきたい。



▲芸術士による空間認知遊び

理職のマネジメント能力の向上を図る必要があると考える。管理職手当については管理職の職能に応じた支給額となっている。

コロナ対応について

問 コロナウイルス感染症の対応に本当にご苦労されていると思う。まだまだ大変だと思いが、今は予防接種に全力投球していただきたい。

答 濃厚接触者などの自宅待機ができにくい市民に市独自の対応ができないか。また、公共施設にサーモグラフィー型体温計を設置できないか伺う。

問 自宅待機時に市独自に施設を準備し、対応を行うことは非常に難しく、保健所から直接お願いをしている。市内小中学校25校にサーモグラフィー装置を導入しているが、他の公共施設については今後検討したい。



▲新型コロナウイルスの予防接種に並ぶ市民

AEDの適正かつ効果的な設置拡大について

問 国から日本救急医療財団「AEDの適正配置に関するガイドライン」が周知された。コンビニエンスストアにAEDを設置することや屋外用収納ボックスへ移転設置について考えを伺う。

答 AED使用効果はより早い使用で救命率が向上し、社会復帰の面でも効果的と言われている。24時間店舗に設置や屋外設置については、必要時の迅速な利用につながるが、業者の協力、購入費用、管理面での検討が必要となる。

問 心肺停止発生が多いのは特にグラウンド、体育館などスポーツ施設が最も多いことから、計画的にAED屋外設置を進めることについて伺う。

答 学校のみならず公共施設全体として全体的なAED配置の在り方を見定め進めていくべきと考え

問 AED講習会とAED設置場所公開の改善について

答 平成7年以来再受講も含め約6,400人が受講している。操作充実に向けさらに推進する。AED設置場所は市ホームページのトップページへの掲載改善で迅速な確認が行えるようにする。



田中達也 議員

デジタルファーストの推進について

問 「市民サービス」のデジタルファーストを推進していく上では、「市民向け情報配信」と、「デジタルデバイドの解消」に優先して取り組まなければ効果が得られにくい。これらの課題への取り組みは、

答 SNSを活用したプッシュ型情報発信の研究を進めている。市内の公民館等でもシニア向けのスマートフォン教室やパソコン教室などを実施している。

新教育長に問う

問 GIGAスクール構想実現に向けて実施される取り組みは、

答 個別最適な学びによる基礎学力の向上を重点に、Aドリル教材の5教科版をすべての小中学校に導入した。並行して、オンライン学習を日常的に活用する。

問 教員の日常生活におけるデジタル活用の実態を調査してはどうか。



▲Aドリルで個別最適な学習



岩田秀樹 議員

ワクチン接種希望者の全市民接種への取り組みについて

問 希望者に接種するワクチン接種だが、接種の申し込みができなかった方は、行政から取り残された気持ちになっていると思う。行政の市民を「誰一人取り残さない」構えが求められている。

答 希望する人たちに対して接種ができるように連絡を取ることが必要ではないか。

「ワクチン難民」と言われるような人が発生しないように、最優先課題として連絡、点検体制を取るべきである。

問 高齢者施設等の入所者の対応はどうしているのか。

答 視覚障がい者など、申し込みや接種会場で苦労している自治体もあるが、こうなっているか。

答 5月19日から71歳以上の方を対象に予約受け付けを行い、9,024人の予約、2,420人の仮予約があった。



▲新型コロナウイルスワクチン接種会場

その他の質問

- 加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の実施について
○三豊市奨学金支給要綱に示された市税完納の要件を外すべきと考え
○公園をトイレのある利用しやすいものにリニューアル
○学校給食の地産地消の推進について

実施することで積極的に新しいことに取り組む姿勢をICT活用の重要性の理解、活用意欲を高めるといった効果も予測され、職員研修にも弾みをつけられると考える。積極的に取り組みたい。自宅での利用については、どのようなスケジュールを進めているのか。
問 2学期の初めには間に合うように、端末持ち帰りのための様式や規定の整備をしている。ネット環境が整っていない家庭に対しては、モバイルWi-Fiルーターを貸与できるよう進める。
問 ゲーム依存症との関係性について
単に使用時間や頻度のみで判断すべきではないと考えている。情報機器の利用制限だけで問題解決になるとも考えていない。不適切なネット利用によって子どもたちが危険にさらされたり、長時間の使用によって本来大切にすべき時間を大きく侵食したりすることについては、適切な指導を重ねていく。
その他の質問
○詫間町体育センター、詫間町武道館老朽化への対応について
○地域経済活性化とワクチン接種率向上をセットにした施策の検討について

\*デジタルデバイス…情報通信技術を利用して恩恵を受けると、利用できず恩恵を受けられない人との間に生ずる情報格差
\*Aドリル教材…タブレット端末などで学べる教材





三木秀樹 議員



10万円で票を買う市長選挙と強行するオリ・パラに対する市長見解は

国民の「声」と分科会の専門医師の見解を無視し、菅政権は世界の変異ウイルスが集まる「オリ・パラ」開催に邁進している。国民の生命より自らの政権維持を重くする異常な対応に「民主主義が変質」が起り、地方にも拡大している。丸亀市長選挙での大々的な選挙買収と私は思う「10万円」で、市民の権利を「買収」ことが許されるとする自民党政治に対する市長の見解は。

また、コロナ感染拡大で、多大な苦汁と自粛を市民に求め、鳥インフルインザで見えないウイルスにおびえたこの一年半、「オリ・パラ」の延期または中止を求める考えがあるのか。見解を聞きたい。

結果の出ている他市の公約のことなので意見を述べる立場にはない。私自身としては「そうした公約」をするつもりも、選択肢にもない。「延期」中止の件だが、国民の命と健康を守ることが最優先であり、この点を守れないときは、躊躇なく中止すべきだ。一方でスポーツが勇氣

と感動を与えるのも事実は。たとえ無観客でも総合的な感染対策を行い、国民・選手が安全安心な大会を期待する。

日本独特の「空気に抗う市長では

コロナ禍以前から、異常な中央集権的「空気」の流れがある。昨年2月末の安倍政府の「各学校の休業」要請が端的な例だ。教育基本法から言ってその要請に「従わなくてはならない」根拠もなく、教育委員会には要請に従った。日本独特の「空気」に従う。変異ウイルスが集まることの現実を直視しない、根拠のない楽観論、オリンピックは「大丈夫」の政府の「空気」感に、破綻するまで気づかないふりをする。市長は各種施策から物事を客観的に捉え、上司(国)に諫言できる首長と思つが。

私が「判断すれば」当然、中止を求める。



五輪の意味が問われる(写真は本庁舎で昨年開催された東京2020巡回展)

その他の質問

- OGIGAスクール構想
○改定「都市計画マスタープラン」

市民建設常任委員会

6月22日開催の市民建設常任委員会には、5議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

三豊市税条例の一部改正について

問 三豊市税条例の一部改正により国外居住親族が扶養から外れる条件は何か。

答 国外で居住している場合で扶養の対象となるには、送金等の確認ができるなど一定の要件が必要になる。その要件に該当しなければ扶養の対象から外れることになる。

問 今回の納期変更の改正は、上位法の改正によるものか。

答 上位法の趣旨に合わせるためのものであり、改正に伴うものではない。



▲ 廃止される三豊市環境衛生会館

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

総務常任委員会

6月21日開催の総務常任委員会には、3議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

財産の取得について(三豊市情報システム機器)

問 機器の価格について、柔軟性のある仕様書を策定できる職員が必要ではないのか。コストを導出してコスト圧縮を図る考えはあるのか。

答 今後のデジタル化やDXの推進等の環境変化に対応するため、専門職員のスキルアップや総合政策アドバイザーの活用など人材の強化が必要になる。また、コスト圧縮の手法はいろいろあるが、監査法人等の活用には予算措置が必要がある。それも含め検討していく。

問 サーバーをクラウドにできないのか、パソコンを導入するにあたりリースにしない理由は何が。

答 全国で業務システムの統合が行われており、実装されるのが2025年以降であるため、現時点での導入を見送っている。リースより購入のほうが安価であること、さらに6年に分割して購入することで平準化を図っているため、リースは実施していない。

問 システム化により業務が改善し

効率化され、それが市民サービスの向上につながるのか。

答 自治体におけるデジタル化の導入は市民サービスの向上を目指すものである。コストに対して効果が上がらない、またコストに見合わないシステム導入は実施しない。

問 パソコンの保守契約はしないのか。

答 台数が多いため保守に高額な費用が発生する。保守契約ではなく調達コストを下げるようにしている。

財産の取得について(消防ポンプ自動車)

問 入札者数と落札率はいくらか。

答 応札の業者は3者、落札率は92.04%であった。



▲ 同種の消防ポンプ車

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

教育民生常任委員会

6月23日開催の教育民生常任委員会には、5議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和3年度一般会計補正予算(第2号)中の関係部分

問 産休、育休の場合はある程度予想がつき、申請も出ているはずである。年度当初予算にならないのか。

答 産休、育休の代替職員については当初から分かっており当初予算に入れるべきところ、予算の計上漏れであり、以後注意する。

問 キシレンを調査するということが、キシレンは何に入っているのか。

答 キシレンは、接着剤や塗料の溶剤および希釈材として用いられる揮発性有機化合物で、学校においては、机、椅子、棚など備品や学習に関わる塗料、油性ペン、接着剤などに入っている。

問 キシレンが検出されたのではなく、基準が変更されたことによる検査か。

答 キシレン基準値が現在の0.20PPMから0.05PPMに見直されたことにより、検査するものである。

工事請負契約の締結について(三豊市総合体育館改修工事)

問 外部の外装材の中にアスベストが

含まれていることはないのか。

答 アスベストの調査では少量のアスベストが発見されており、工事の中で対応する。

問 外部全体に対応するのか。約3,000㎡近くあるが、今回改修するところは、外部のうち一部だけ対応するのか。

答 アスベスト調査はすべて行っており改修工事に関わる部分はすべて撤去する。外壁部分については下部分に一部含まれているが、今回の工事で影響はなく、アスベストによる変更はない。



▲ 改修工事される三豊市総合体育館

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

委員会審査

6月定例会では、各委員会に議案が付託され、その審査の経過や結果が、本会議で報告されました。委員会での審査内容を掲載します。

